

特集1

総ネットワーク化時代のEMC 設計入門

～あらゆる機器や機能モジュールが相互通信を行う今、全設計者必修の知識～

特集2

突然降りかかってくるシステム制約に立ち向かう！

～組み込み技術者なら押さえておきたい定石テクニック集～

2007年8月10日発売/予価1,320円

■特集1では、EMC(electro magnetic compatibility；電磁環境両立性)設計のあるべき姿や対策の実例などについて紹介します。機器間のデータ転送速度は高速化の一途をたどります。また、近年の無線通信や高速電力線通信の広がりやメカトロ機器に搭載する電子回路の増加などによって、あちらこちらでわれわれが意図しないアンテナが乱立する可能性が増えています。もはやEMCに関する知識は、ハードウェア、ソフトウェア、メカトロニクス設計者に必須です。

■組み込みシステム開発においては、ハードウェアの設計が完了した後になってから仕様が変更されるなどして、新たな機能を要求されることがあります。また、システムは出来上がったけれども必要な性能が得られず、設計を検討し直すことがあります。特集2では、このような事態に役立つ処方箋と定石テクニックを解説します。

編集後記

デジタル・カラー複合機などには信号処理/画像処理用にASICが使われています。ハードウェアで作るとまねされない、処理スピードが速いなどの利点があるからでしょう。ところが、ASIC設計にかかる時間と費用を考えると、最近の並列処理プロセッサを選ぶという選択肢もみえてきます。今後の発展を期待しましょう。(檀)

南カリフォルニアといえば、温暖で青空と強い日差しのイメージがあります。ところが今年6月上旬のSan Diegoはあきらかに夏に感じました。気温は平年より5°Fほど低く、空一面を雲が覆ってしまう日が続く、半袖では肌寒く感じることもありました。至る所でcool(low power)が話題になっていました。(N²)

ちょっとり席を移動しました。新しい席は若干スペースが狭く、何かを捨てなければ入りきりません。あふれ返る取材資料にメモ、雑誌、書籍をどう片づけるか頭を悩ませています。結局は捨てる以外ないのですが、いざ捨てようとするとき「ちゃんと読んだ？本当に不要？」と雑誌類が問いかけてくるのです...(志)

(志)さんがInterface編集部に移動し、Interface編集部から(54)君が異動してきます。さらに、新人の(X nan)さんが加わりました。(志)さんには本当にお世話になったので、淋しい気もしますが、元気印の(54)君が加わるのがまんじょうかと。(志)さん今までありがとう。これからも仕事と家庭、ともに頑張ってください。()

ノートPCとPHSカードを持ち歩けば、喫茶店でも駅のベンチでも最低限の仕事はできる。落ち着ける環境と高速回線、出力サービス、何よりも交流電源を自由に利用できるビジネス向けレンタル・スペースがあれば、とてもありがたい。最近、新宿西口駅前で一つ見つけたが、こういうビジネスには長続きしてほしいものだ。(み)

黄色いハイビスカスは、ハワイのシンボルですが、とてもよく花をつけます。ところが昨年からの冬は屋外に出っぱなしのために枯れてしまいました。とおもいきや、ずーっと水をやっていたら新芽が出てきてとても小さいな花をつけました。命ってすごいですね。今年の冬は暖かいところにおいてあげましょう。(R)

母が昨年作ったブランド梅酒がおいしかったので、自分で漬けてみることに。青梅を買ったお店でピンが売り切れていたため違うお店に行ったところ、先に買ったものよりおいしそうな梅があつてついつい購入。ブランド漬けてホワイト・リカー漬の2ピンになった。ピンが大きくて置き場に困るけれど、半年後が楽しみ。(P)

引越しをして2カ月が過ぎた。日当たりよく、西向きの部屋だということは十分承知しているが、少しでも暑い日に帰ると、かなりの蒸し風呂状態...。本格的な夏がくる前に何か対処しなくては！緑が枯れてしまいそうだし、私も...。すだれを買ってみようかと思うが効果はあるのかなあ。猛暑でないことを祈るばかり。(nan)

お知らせ

▶ 本誌掲載記事の利用についてのご注意

本誌掲載記事には著作権があり、示されている技術には工業所有権が確立されている場合があります。したがって、個人で利用される場合以外は所有者の許諾が必要です。また、掲載された回路、技術、プログラムなどを利用して生じたトラブルについては、小社ならびに著作権者は責任を負いかねますので、ご了承ください。

なお、本誌掲載記事をCQ出版(株)の承諾なしに、書籍、雑誌、Webといった媒体の形態を問わず、転載、複写することを禁じます。

▶ 投稿歓迎します

本誌に投稿をご希望の方は、連絡先(自宅/勤務先)を明記のうえ、テーマ、内容の概要をレポート用紙1～2枚にまとめて「Design Wave Magazine 投稿係」までご送付ください。メールでお送りいただいてもけっこうです(送り先はdwm_edit@cqpub.co.jp)。追って採否をお知らせいたします。なお、採用分には小社規定の原稿料をお支払いいたします。

▶ お問い合わせのご案内

- 在庫の確認、バックナンバーのご購入、年間購読の送付先案内などに関して
販売部：TEL03-5395-2141
- 広告に関して
広告部：TEL03-5395-2131
- 記事に関して
編集部：TEL03-5395-2126

記事の技術的な内容にかかわるご質問は、返信用封筒を同封して編集部宛に郵送して下さるようお願いいたします。ご質問は筆者に回答してお答えいたします。なお、ご質問が記事内容から逸脱したり、コンサルティング的な内容の場合は、お返事できないこともございます。

本書に記載されている社名、および製品名は、一般に開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文中では™、®, ©の各表示を明記しておりません。

Design Wave 2007年8月号

第12巻 第8号 通巻117号

発行所 CQ出版株式会社
〒170-8461 東京都豊島区巣鴨1-14-2
電話 販売部(03)5395-2141
広告部(03)5395-2132
編集部(03)5395-2126
振替 00100-7-10665

発行人 山本 潔
編集人 山形孝雄
©2007 CQ出版株式会社
(無断転載を禁じます)
2007年8月1日発行

(定価は表四に表示してあります)

表紙デザイン AD/田中智康
写真/© Science Museum/SSPL/AFLO
DTP クニメディア(株)
印刷・製本 大日本印刷(株)
Printed in Japan

URL <http://www.cqpub.co.jp/dwm/>
<http://www.kumikomi.net/>